

## 2. 車いす編

### (3) 体験プログラム例

#### ① 基礎編

目的 車いすの基本的な操作、介助方法を学ぶ

ポイント 車いすを使っている人の気持ちになって体験してみよう

場所 体育館など、学校内の広い場所をえらぶ

準備 車いす、コース図、ワークシート、  
障害物：コーン、マット、ふみきり板など

活動内容

- 1, 車いすのつくりやどのような使い方をするかについて知る。
- 2, ひろげ方とたたみ方、ブレーキのかけ方を知り、やってみる。
- 3, 車いすに乗り、コース図を見ながら自分で動いてみる。
- 4, 人を乗せ、介助してみる。
- 5, ワークシートに気づいたことや感じたことなどを書きとめておく。

